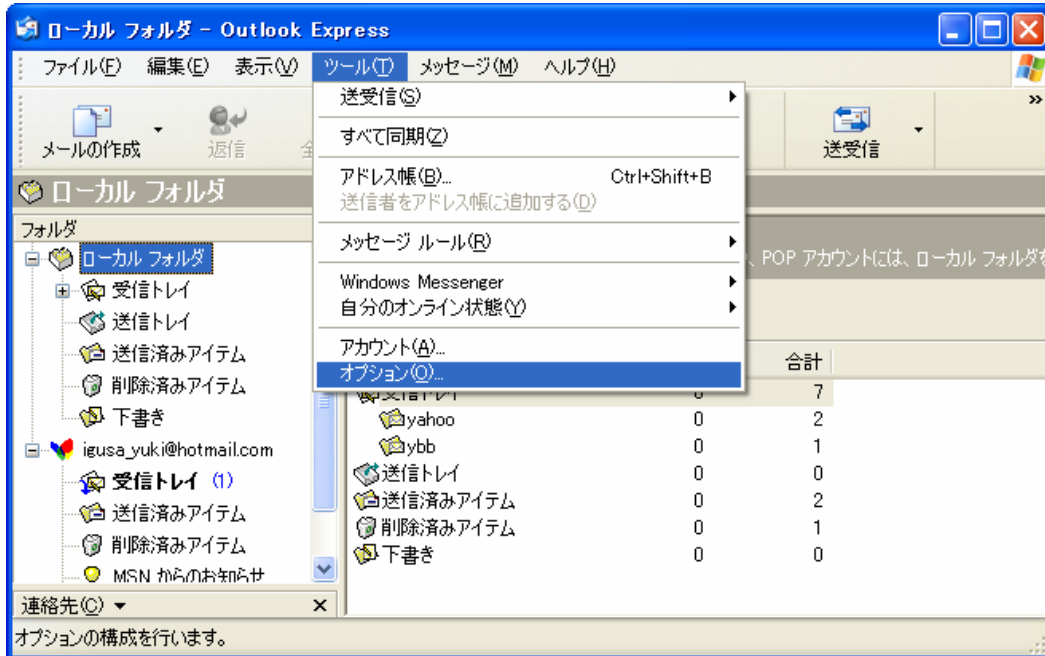


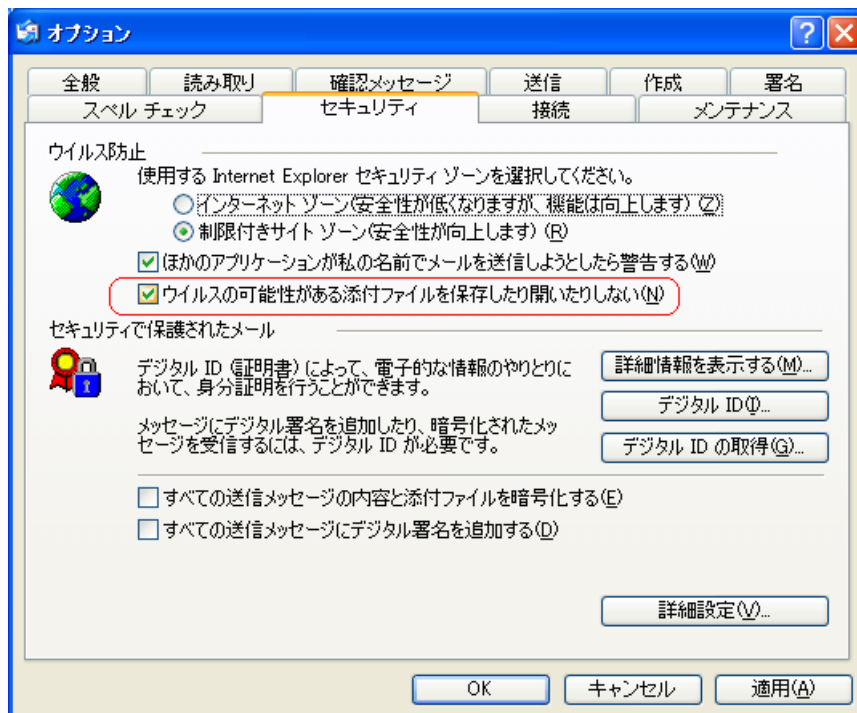
Outlook Express のセキュリティ設定

無意識に添付ファイルを開かない設定をする

Outlook Express のツールからオプションを選択。

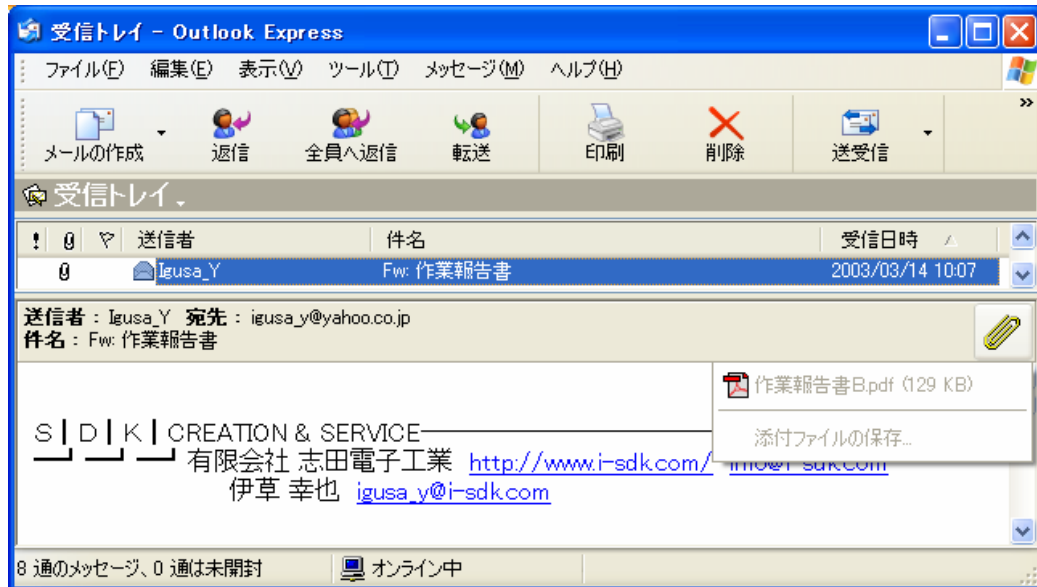


オプションのセキュリティを選択し、「ウイルスの可能性のある添付ファイルを保存したり開いたりしない」にチェックを付けます。ただし、これを設定すると、ウイルスに限らず全ての添付ファイルを開いたり保存したりすることができなくなります。



添付ファイルを保存したり開いたりできるように設定する

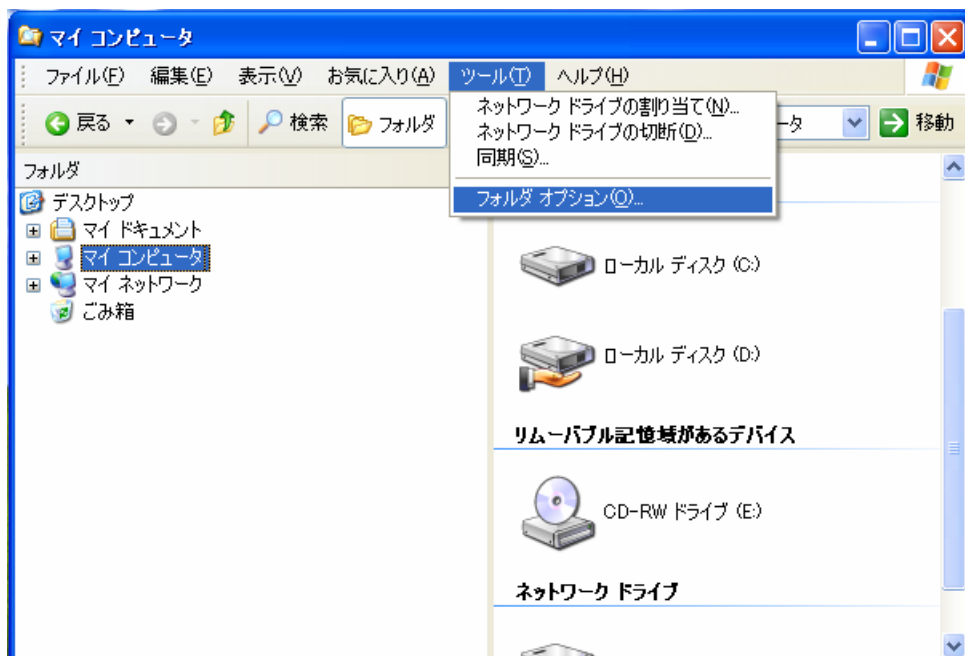
Microsoft Word や Excel など、普段よく使うファイルが添付されてきた時には開いたり保存できるように設定します。ここでは PDF ファイルを例に説明します。



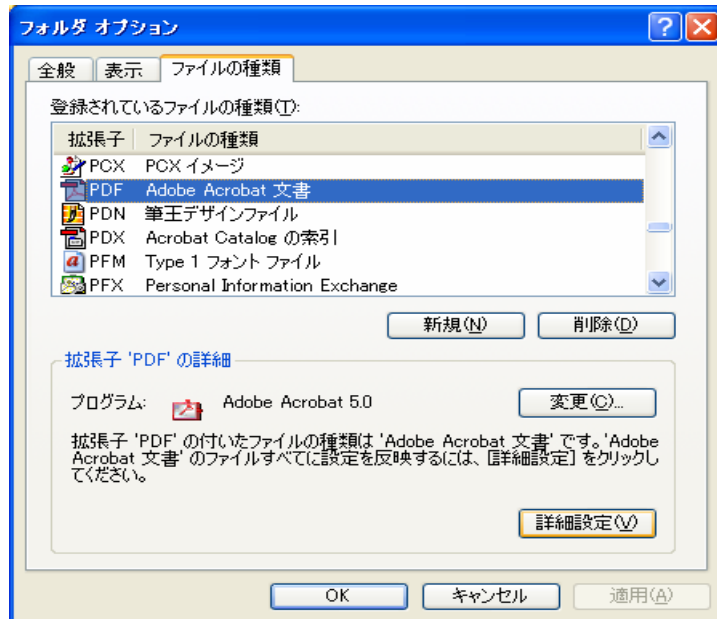
添付ファイルの作業報告書 B.pdf が開いたり保存できません。

オプションのセキュリティを選択し、「ウイルスの可能性のある添付ファイルを保存したり開いたりしない」のチェックを外すことで、ファイルを開いたり保存したりすることができます。しかし、毎回チェックを外したり付けたりでは大変です、普段よく使うファイルが添付されてきた時には開いたり保存できるように設定します。

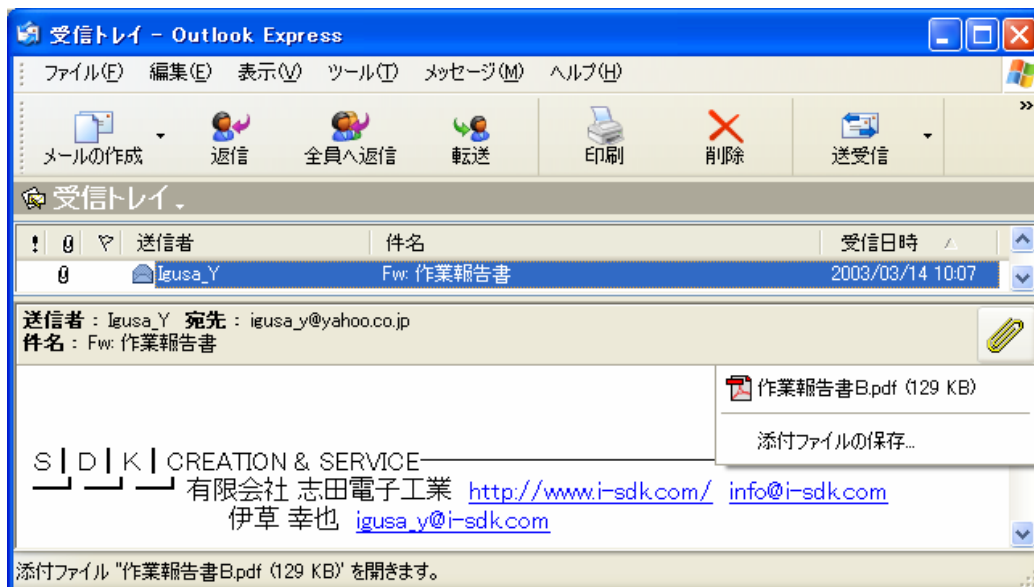
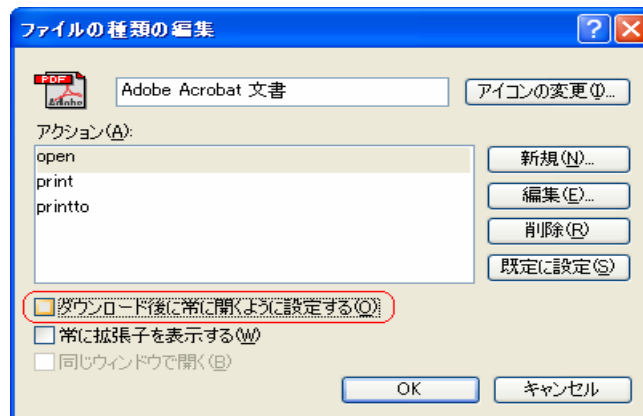
エクスプローラを開きツールのフォルダオプションを選択します。



フォルダオプションのファイルの種類を選択し、登録されているファイルの種類から PDF Adobe Acrobat 文章を選択し詳細設定をクリックします。



ファイルの種類編集で「ダウンロード後に常によく開くように設定する」のチェックを外します。

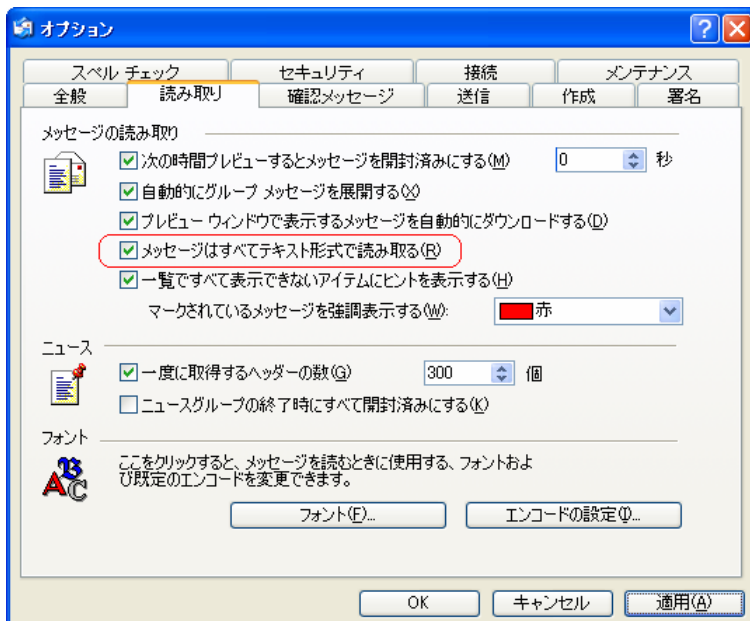
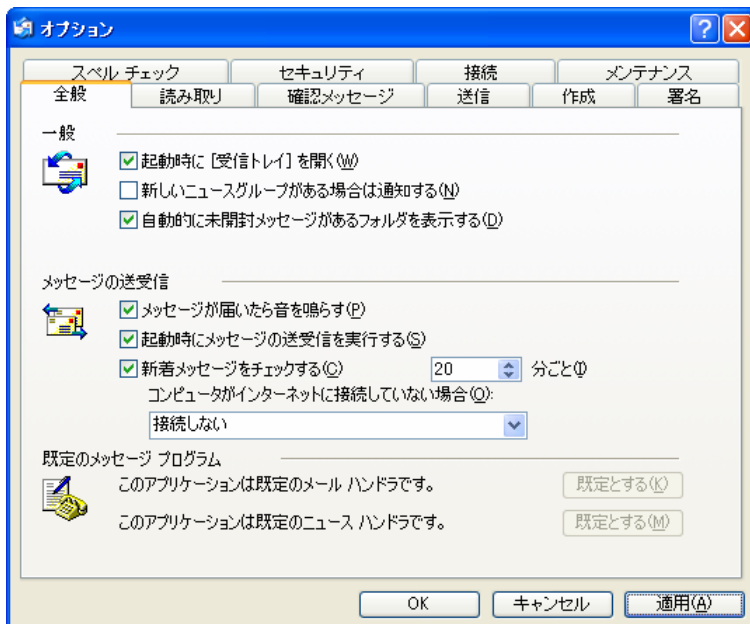
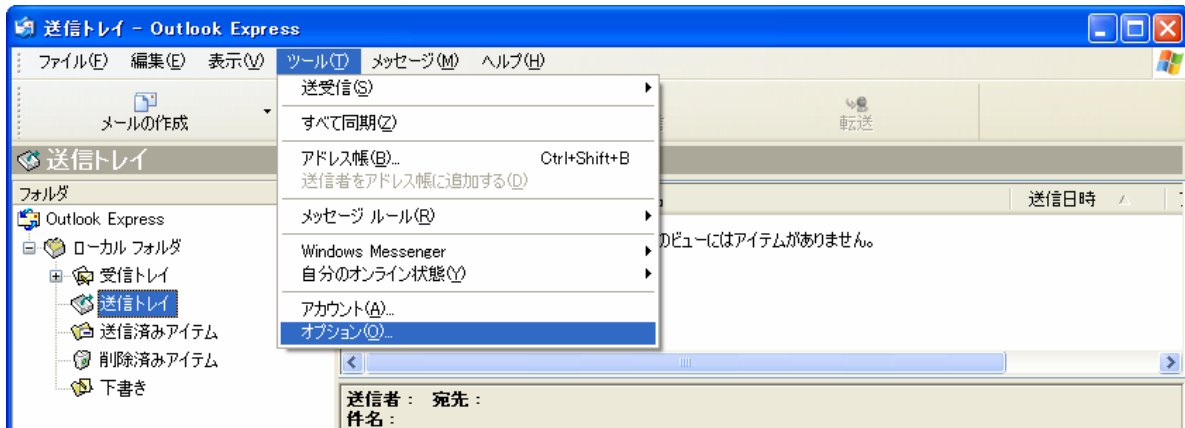


これで、添付ファイルの作業報告書 B.pdf が開いたり保存できます。

その他のオプションの設定

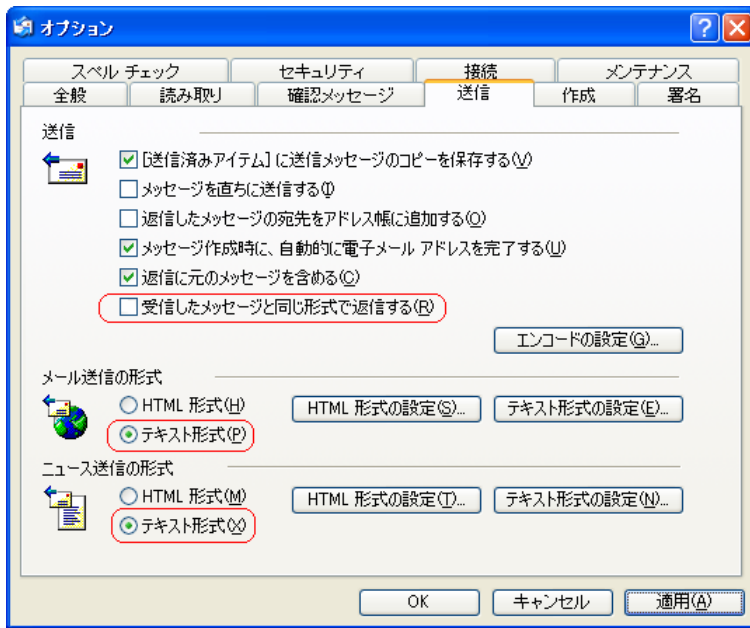
Outlook Express を起動します。

メニューバーのツール→オプションをクリックします。

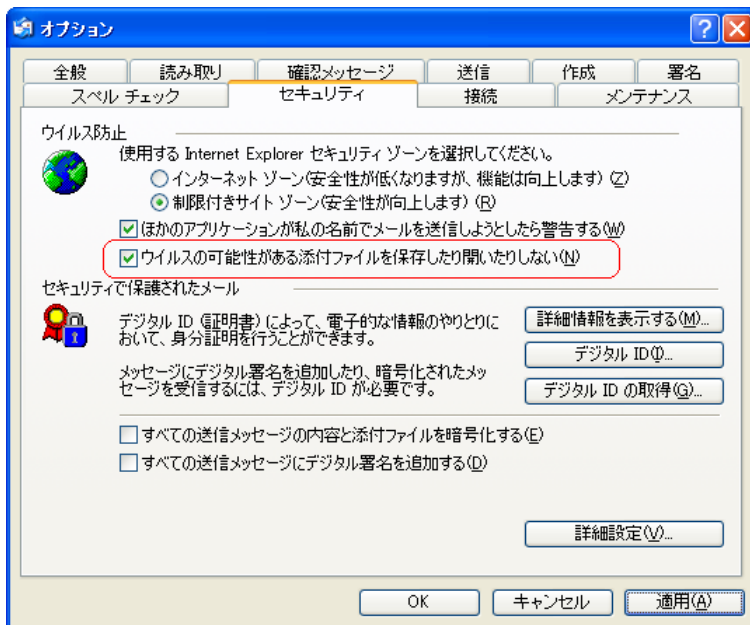


表示したら直に開封済みにするには
0 秒に設定する。

安全の為メッセージはすべてテキスト形式で
読み取る。



ウイルス付メールを送らないようにメールはテキスト形式がお勧めです。



ウイルスの可能性のある添付ファイルを保存したり開いたりしないにチェックを入れる。

